

令和元年中の火災概要について

火災概要

令和元年(平成31年)の総出火件数は9件で、前年に比べ7件の減少となりました。

火災種別でみると、建物火災が9件でした。

建物火災のうち住宅(専用住宅、共同住宅及び併用住宅)は6件で、前年に比べ3件の増加となりました。

また、火災による死者は1名、負傷者は1名発生しました。

出火原因別にみると、「放火」2件、「電気ストーブ」1件、「こたつ」1件が主な原因となっています。

損害額については17,106千円で、前年より3,020千円増加しています。

区分		年	令和元年(平成31年)	平成30年	増減
火災件数	合計		9	16	▲ 7
	建物火災		9(住宅6)	11(住宅3)	▲ 2
	林野火災				
	車両火災			5	▲ 5
	船舶火災				
	航空機火災				
	その他火災				
焼損棟数			10	13	▲ 3
り災世帯数			6	3	3
面焼積損	建物床面積(㎡)		199	239	▲ 40
	建物表面積(㎡)		10	7	3
	林野(a)				
損害額(千円)別	合計		17,106	14,086	3,020
	建物火災		17,106	13,286	3,820
	車両火災			800	▲ 800
	航空機火災				
	その他火災				
死者数			1		1
負傷者数			1		1
火災発生間隔日数(日)			40.6	22.8	17.8
焼火損元程度建物	全焼			1	▲ 1
	半焼		1	3	▲ 2
	部分焼		4	4	
	ぼや		4	3	1
爆発					
出火原因	たばこ			2	▲ 2
	放火・放火の疑い		2	2	
	電灯・電話等の配線			2	▲ 2
	炉			1	▲ 1
	上記以外		7	9	▲ 2
住宅用火災警報器設置件数()は住宅火災件数			4(6)	2(3)	

救急概要

令和元年(平成31年)の救急出動件数は4,067件で、前年に比べ27件増加し過去最多の出動件数となりました。

1日平均すると11件を超え、10年前に比べ約28%の増加となっています。

搬送人員も前年より46人増加の3,905人となり、小松市民の約28人に1人が搬送されたこととなります。全体の搬送者のうち、約63%が高齢者となっています。

区分		年	令和元年(平成31年)	平成30年	増減
救急出動件数	合計		4,067	4,040	27
	急病		2,593	2,536	57
	交通事故		328	372	▲ 44
	一般負傷		612	643	▲ 31
	転院搬送		417	361	56
	上記以外		117	128	▲ 11
救急搬送人員	合計		3,905	3,859	46
	急病		2,465	2,415	50
	交通事故		342	372	▲ 30
	一般負傷		594	618	▲ 24
	転院搬送		418	360	58
	上記以外		86	94	▲ 8
別傷病搬送者 人年齢 員別	高齢者		2,470	2,396	74
	成人		1,115	1,151	▲ 36
	少年		150	148	2
	乳幼児		165	163	2
	新生児		5	1	4
搬送程度 人 員別	死亡		113	105	8
	重症		506	550	▲ 44
	中等症		1,508	1,433	75
	軽症		1,778	1,771	7
	その他				

救助概要

令和元年(平成31年)の救助出動件数は44件で、前年に比べ6件減少しています。

区分		年	令和元年(平成31年)	平成30年	増減
出動件数			44	50	▲ 6
活動件数			24	23	1
救助人員			25	23	2